

洋上風力発電を支える船を毎日運航します！

船員



わたしたちは、海の上に発電のための巨大な風車を建てる作業員や資材を運ぶ、CTVという船の船員です。風の力で電気を作る洋上風力発電は、空気をよごさない再生可能エネルギー。安定して発電できることから世界中が注目し、日本では秋田県が最も力を入れて取り組んでいます。2027年夏には新しい施設の建設が始まる予定で、わたしたちはCTVで作業員を安全に運び、洋上風力発電の発展と皆さんの豊かなくらしを支えていきます。



このお仕事について きっかけ

子供のころから海や船が好きで、学生時代は船の機械の仕組みを勉強しました。CTVでは機関長として、毎日の点検や故障した時の修理など、“船のお医者さん”のような仕事を担当します。

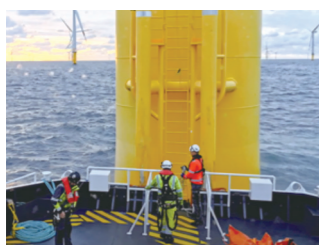
船員ってどんなお仕事をしているの？

▶ 船を操縦する



船を操縦するのは船長の仕事です。安全な運航はもちろん、常に天気や波の高さを見て、時には港へ引き返すという命を守るための判断もおこないます。

▶ 船に乗る人を安全に運ぶ



CTVは2つの船をならべてつなげた形でゆれを軽減。船首には風車と接触した時の衝撃をやわらげるクッションを付けるなど、安全のための工夫が詰まっています。

▶ 船の機械を点検整備する



船の中にはエンジンのほか、様々な機械があります。これらが正しく動いていることを確認し、トラブルがあれば原因をさぐって修理して、船の安全な運航を支えます。

▶ 訓練で緊急事態に備える



海に投げ出された人の救助訓練や消火訓練、船に水が入ってきた時の対策など、命を守るための訓練をおこないます。内容や回数は、船に関する法律などで決められています。

こんな人も働いています！

- 船を造る人
- 船の構造や設備に問題がないか検査する人
- 陸上側で船の運航をサポートする人
- 船に必要な部品、道具類をとどける人
- 船員を育成するための先生

この会社に教えてもらったよ！

日本郵船と秋田曳船が設立した新しい会社です

ジャパンオフショアサポート株式会社

秋田市土崎港西2-5-9 TEL/018-803-5120

創業/2024年12月 従業員数/8名



ジャパンオフショアサポート株式会社にはこんなグループ会社があります

▶ 将来の船員や作業員を育てる学びの施設



撮影者：高橋希 (オジモンカメラ)

秋田県鹿角市にある「風と海の学校あきた」は、洋上風力発電に関わる作業員を育てる施設です。秋田オフショアトレーニングセンターという会社が運営し、作業員に必要な安全訓練や船員が受けなければならない基本訓練、CTVを操縦するためのシミュレーター操船訓練などを実施。当社では秋田県の船員を積極的に採用し、風力発電とともに地域の未来を支えます。

☑ CHECK! 地球の未来のために大切な洋上風力発電を知ってほしい！

海洋高校の生徒に向けて、実際にCTVを運航している船長や機関長が授業をおこなっています。CTVの特徴や船での仕事に加え、洋上風力発電についてもわかりやすく説明します。CTVを作る造船所を見学するなどして、より深く知ってもらえるよう活動を続けています。

